

行ったり炊き出しを行い避難所運営に協力していただいた組織もありました。今後アンケート調査などを行い活動状況と問題点を検証して参ります。

○大震災のピンチをチャンスに



さとう くにお夫
佐藤 邦夫

質問 関東、関西を始め全国各地から東北支援の声が上がっています。この支援の輪を農産物などの物産販路拡大、新規流通の開拓などのチャンスと捉え、積極的に取り組む必要があると考えます。大都市などで出張販売をする産直や団体、グループなどに交通費や宿泊費などの援助についての考えを伺います。

市長 新しい流通のあり方を構築するチャンスだと思います。奥州市の物産を宣伝販売するのですから、交通費などの支援を考えて参ります。

質問 東日本大震災において、支援物資が必要な所に届かないという、報道がされていますし、奥州市にも現地に届けられない物資が

各支所などに山積みされています。支援者の善意が困っている被災地、被災者に即届くようにするために、ピンポイント、例えばモデル地区として江刺区の愛宕地区と、姉妹都市の掛川市のある地区との交流を普段から始めていくのが必要ではないでしょうか。平時の交流が有事の際のコメなどの食料援助などを含めた、相互支援に大いに役立つと考えますが伺います。

市長 今回の支援物資の必要なのが日々変わる状況で、支援のあり方など今後の課題として取り組む必要があります。ご提案の姉妹都市とのピンポイントの交流は、掛川市にも適当な地区があるかと

奥州市の姉妹都市（国内）（7月1日現在）

| 都 市 名 | 人口（人） | 面積（km ² ） |
|---------------------------|---------|----------------------|
| * 静岡県掛川市（災害時相互応援に関する協定締結） | 119,537 | 265.63 |
| * 北海道夕張郡長沼町 | 11,904 | 168.36 |
| * 北海道勇払郡厚真町 | 4,874 | 404.56 |

うか確認してみます。

○沿岸の被災者、被災地への支援について
○水沢総合体育館の名称について



ちば ごろう
千葉 悟郎

質問 沿岸の避難者に対しての生活の支援は、7月中の仮設住宅への入居でひと区切りとなり、次は被災者、被災地の自立の支援であります。瓦礫の処理や撤去だけで3年以上はかかるようで大きな課題であります。奥州市として、県南広域振興局を背負っている立場から、リーダーシップをもって、瓦礫の撤去への助力と内陸市町とともに支援策を検討する考えについて伺います。

市長 今後の支援策として、職員の派遣と仮設住宅入居者の生活支援も含めた長期の支援も必要と考えています。また内陸市町との連携による支援策について協議する必要を感じていますが、日時は決めておりません。

質問 奥州市として瓦礫の一部でも処理や撤去を引き受け、撤去期間の短縮に援助する考えがないか伺います。

市長 瓦礫を引き受ける場所が、奥州市にはないと思っております。



水沢総合体育館（Zアリーナ）

質問 水沢区に「水沢総合体育館（Zアリーナ）」と水沢公園内に「水沢体育館」がありますが、まぎらわしい名称であると市内外の人たちから言われます。変更するよう提案したいと思いますが、教育委員会としての考えを伺います。

教育委員長 まぎらわしい名称であるとの調査報告もあり、早めに検討して参ります。